ナンバリング	授業科目名(科目の英文名)	区分・【新主題】/（分野）	授業形式
EU41B401	特別支援教育総合演習Ⅰ (Synthetic Seminar in Special Needs Education Ⅰ)	実践演習科目	対面

必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語	担当形態
選択必修	2	1	教育学研究科	前期	水1	日本語		複数(共同)

担当教員	氏名　佐藤晋治，高橋徹弥 E-mail　ssato@oita-u.ac.jp　内線　7531（佐藤）
授業の概要	特別支援教育における教科や特別活動、自立活動などにおける指導・支援の内容及び方法を構想する力を養う。 また、実践事例の探求、指導計画・教材の作成を通して、児童生徒一人一人の個性に応じた指導・支援を立案・検討できる力を養う。

具体的な到達目標		DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7
目標1	児童生徒一人一人の障害の程度等を整理し、指導の目標及び計画を適切に設定することができる		○		○				
目標2	児童生徒一人一人の障害の程度等を踏まえた具体的な指導・支援の手立てを立案・検討することができる		○		○				
目標3									
目標4									
目標5									
目標6									
目標7									
目標8									
目標9									
目標10									
		各DPへの関連度（計10）	4		6				

授業の内容	
1	特別支援教育における教科（国語）の指導計画の作成演習
2	特別支援教育における教科（算数・数学）の指導計画の作成演習
3	特別支援教育における教科（体育）の指導計画の作成演習
4	特別支援教育における教科（国語）の教材研究
5	特別支援教育における教科（算数）の教材研究
6	小学校・小学部での特別支援教育における特別活動の指導計画の作成演習
7	中学校・中学部での特別支援教育における特別活動の指導計画の作成演習
8	高等学校・高等部での特別支援教育における特別活動の指導計画の作成演習
9	小・中学校、小・中学部での特別支援教育における特別活動の教材研究
10	高等学校・高等部での特別支援教育における特別活動の教材研究
11	小学校・小学部での特別支援教育における自立活動の指導計画の作成演習
12	中学校・中学部での特別支援教育における自立活動の指導計画の作成演習
13	幼稚園・幼稚部での特別支援教育における自立活動の指導計画の作成演習
14	小・中学校、小・中学部での特別支援教育における自立活動の教材研究
15	幼稚園・幼稚部での特別支援教育における自立活動の教材研究

アクティブラーニング				
A:知識の定着・確認	○	事例研究，グループ・ペアでの共同作業，ディスカッション，模擬授業	その他の工夫	
B:意見の表現・交換	○			
C:応用志向				
D:知識の活用・創造	○			

授業時間外学修の内容と想定時間		
	準備学修	特別支援学校教育要領・学習指導要領の精読（15h）
	事後学修	文献、インターネット検索等による先行研究や事例研究（30h）
	想定時間合計	45

教科書	必要な資料等は大学より配付する。
参考書	・特別支援学校教育要領・学習指導要領解説総則編及び自立活動編（幼稚部・小学部・中学部）　平成30年3月，文部科学省，ÎSBN978-4304042317 ・特別支援学校学習指導要領解説各教科等編（小学部・中学部），平成30年3月，文部科学省，ISBN978-4304042300

成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	指導計画作成演習及び教材研究への積極的な参加度	40%	○	○								
	指導計画の完成度	20%	○	○								
	最終レポート	40%	○	○								

注意事項	
備考	
リンク	URL
担当教員の実務経験の有無	○
教員の実務経験	佐藤晋治(臨床心理士，学校心理士)/高橋徹弥(特別支援学校，教育委員会事務局)
実務経験をいかした教育内容	学校現場や学校臨床，発達臨床の実務経験に基づいて，児童生徒一人一人の障害の程度等を踏まえた具体的な指導・支援に関する指導を行う。